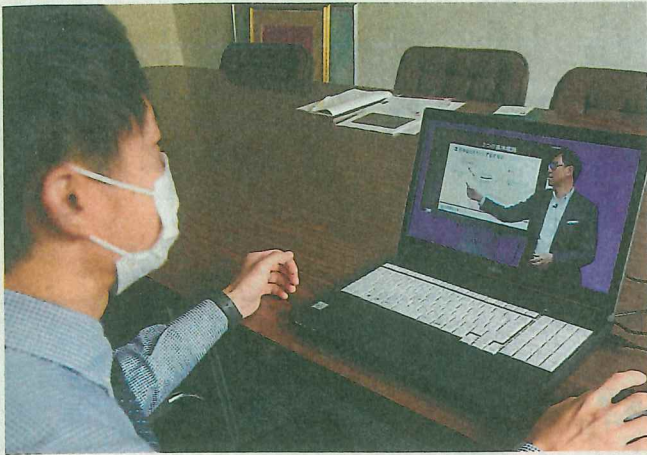


介護施設の経営 樽商大が講座開始

小樽商科大は、介護施設で働く管理職を養成する講座「介護ミドルマネジャー育成プログラム」を開講した。施設経営やマネジメントなどに関する授業の動画をオンデマンド配信し、人材育成を目指す。



小樽商科大が配信する授業の動画

コロナ下 社会人の就職支援 オンライン配信 受講生募集

新型コロナウイルス禍で就労環境が悪化する中、就職や転職を支援するため大学が社会人向けに行う、文部科学省の「大学リカレント教育推進事業」の一環。同大と介護関連企業「さくらコミュニケーションサービス」（札幌）が連携して動画を作成した。

講座は3期に分けて開講し、受講者は10人ずつ計30人。第1期は10月18日に始まり、約2カ月かけ64時間分の授業を配信。受講者は自分の好きな時間帯に視聴できる。ヘッドセットを貸し出し、仮想現実（VR）の技術を使った実習や、オンラインでのグループ討議もある。

同大によると、介護施設では、管理職のマネジメント能力の不足による早期離職などが問題になっている。藤原健祐准教授（保健科学）は「経営を学ぶ魅力ある職場づくりをすることが、人材不足の解消につながる」と話している。同大は12日まで、第3期（20日～来年1月30日）の受講生を募集している。詳しくは同大ホームページへ。（宮本夕梨華）